

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	県立あわじ特別支援学校 職・氏名 教諭 西田 一裕	研究チーム名 (あわじ特別)
-------------	------------------------------	---------------------

研究テーマ分類番号 (17)

(1) 研究テーマ
特別支援学校高等部生徒の資格取得に関する研究
(2) 研究経過及び具体的な取組
<p>4月29日 担当者との打合せ</p> <p>内容：ワープロ実務検定4級（全国商業高等学校協会主催）・計算技術検定4級（全国工業高等学校長協会主催）等、取得のための必要な能力の分析</p> <p>結果：ワープロ実務検定4級：中学校1年生程度の漢字の読み等の習得が必要</p> <p>計算技術検定4級：分数、比例問題等の理解が必要</p> <p>5月 9日 担当者との打ち合わせ</p> <p>内容：対象生徒の特性に合わせた、資格試験指導方法の検討。</p> <p>対象生徒：高等部2年生、男子生徒1人、女子生徒1人。</p> <p>結果：ワープロ実技検定4級：タイピングソフトを使用して、入力スピードを向上させるための指導を行うことが必要。（対象：高等部2年生 女子生徒 1人）</p> <p>計算技術検定4級：分数、比例問題等の理解が必要。問題集等を使用する。（対象：高等部2年生 男子生徒 1人）</p> <p>6月 7日 担当者との打合せ</p> <p>内容：検定試験合格により、自尊感情は、どのように変化するのか。測定方法の検討について1</p> <p>結果：心理測定尺度（児童用コンピデンス尺度等を使用）、行動観察、エピソード記録等、総合的に判断する必要がある。</p> <p>7月12日 担当者との打合せ</p> <p>内容：平成23年度、第1回 計算技術検定4級（全国工業高等学校長協会主催）高等部2年生 男子生徒1人受検の報告と今後の予定について。対象生徒の、第1回計算技術検定4級は不合格。</p> <p>原因：四捨五入、比例問題等の理解不足が考えられる。</p> <p>結果：第2回計算技術検定4級試験に向けて（課題等の克服）</p> <p>不得意分野の指導。問題集等を使用して指導する必要がある。模擬試験等の実施が必要。</p> <p>8月 2日 担当者との打合せ</p> <p>内容：第2回 ワープロ実技検定4級（全国商業高等学校協会主催）</p> <p>受検者生徒のタイピングソフトの入力文字数についての報告会</p>

結果：ワープロ実技検定4級について、対象生徒(高等部2年生 女子生徒1人)の文字入力速度は、合格基準に達していない。生徒・保護者の希望により、第2回ワープロ実技検定4級は、受検しないことに決定。

9月 2日 担当者との打ち合わせ

内容：対象生徒(高等部2年生 男子生徒1人)の、第2回 計算技術検定4級に向けて、指導方法の検討

結果：電卓の基本操作の理解および四捨五入等を理解させることが必要。

問題集や日々の宿題で指導することが必要。

模擬試験、日程等の検討が必要。

10月19日 講演会

場所：本校会議室

講師：兵庫教育大学大学院准教授 講演会

対象：本校職員

内容：特別支援学校高等部生徒の自尊感情について。

11月18日 第2回 計算技術検定4級(全国工業高等学校長協会主催)受検

内容：対象、本校 高等部2年生男子生徒(1人)

結果：合格

合格できたことの要因を、今後研究チームで分析する。

トークンや、問題ができたときには褒めるなど、周りからの賞賛が、本人のやる気を喚起した。